

令和6年度 青少年及び青少年育成功労者等表彰被表彰団体・被表彰者 一覧

《青少年育成島根県民会議表彰》

【青少年の部】

No	氏名	活動年数	在籍部署等	市町村名（推薦団体）	活動概要
1	くしびき りょうと 楢引 峻人	1 年	学生 （島根大学医学部）	出雲市 （出雲警察署管内少年補導委員連絡会 / 出雲市青少年育成市民会議）	・被推薦者は大学生ボランティアとして、令和5年4月1日に少年補導委員に委嘱され、学業の合間を縫って少年の非行防止・健全育成活動に取り組んでいる。 ・主な活動は、「情報モラル教室への参加協力」と「中学生に対する学習支援」である。 ・「情報モラル教室への参加」では、小学校で開催した教室で出雲警察署員や他の少年補導委員とともに参加し、迷惑動画をテーマにした寸劇を行い子ども達の情報モラルの向上を図った。 ・中学生に対する学習支援では、出雲警察署からの依頼を受け、警察署が関わっている中学生3名に対し夏季休業中に3回学習支援を行った。一つ一つの問題を丁寧に分かりやすく教えており、中学生も真剣な表情で学んだ。本人は「勉強しに来るだけでも偉い」等の声をかけ、中学生の自己肯定感を養ったりやる気を引き出していた。 ・中学生や保護者から好意的な感想や感謝の言葉が寄せられ、本人も「とても楽しかった。またいつでも勉強を教えるので、声をかけてほしい」と意欲的である。

* 青少年の部は、表彰規定に活動年数を規定していない

【青少年団体・グループの部】

No	団体名	活動年数	30歳未満構成員/全構成員	市町村名（推薦団体）	活動概要
1	ふかの かぐら 深野神楽こども教室	21年	13/21人	雲南市 （雲南市青少年健全育成協議会）	・昭和61年に深野神楽保存会が復活し、その影響を受けて保育所や中学校で神楽活動をするようになった。 ・平成15年に当時の田井公民館で、伝統文化活性化国民協会の事業を受け本教室を開講し、小学生を対象として、毎月第2第4土曜日に練習を行っている。 ・毎年、日頃の練習の成果を3月の発表会で披露している。 ・年々技術や表現力が高まり、大人でも難しいとされる髷や神歌、笛を習得。大人顔負けの舞台が評判となり各地から公演依頼を受けるようになった。 ・こども同士で舞や奏楽の指導や衣装の着付けをするなど協力し合う力もついてきている。 ・大田や浜田など他地域のこども神楽の単体と交流を続け、平成25年には10周年記念共演会を盛大に開催した。 ・少子化で教室生が減少すると、対象を中学生までとし吉田町外にも広げたことで人数が増えて活気も増した。 ・教室を卒業した後も大人の神楽に参加するなど、地域の伝統芸能の継承や地元への愛着や世代を超えた絆の形成に貢献している。

【青少年指導者の部】

No	氏 名	活動年数	過去の表彰歴	市町村名（推薦団体）	活動概要
1	よしおか てつし 吉岡 哲志	31年	浜田市体育協会スポーツ功労者表彰 (H23. 10. 10)	浜田市 （今市地区まちづくり推進委員会 / 浜田市青少年育成連絡会）	・旭地域では従前から小学生対象の陸上教室が行われていたが、中高生も含めた活動の場を設けるため本人が1993年に旭ジョギーズを立ち上げた。 ・指導者として週1回、小学生から大人までを対象として陸上競技全般の指導を行っている。 ・旭ジョギーズでは、基礎的な運動により陸上に親しみを持ってもらい“身体を動かし走ることを楽しむ”ことを目的として活動している。 ・参加者については、旭地域外からも受け入れともに活動をしている。 ・ジョギーズに所属していた子ども達の中には、全国高校駅伝出場や松江城マラソン3位入賞をするなど、地域を離れた現在も陸上競技を続け活躍する人材を生み出している。 ・近年では、小中学生を対象とした記録会を開催するなど陸上競技のさらなる普及活動に尽力している。
2	きたむら とおる 北村 徹	10年		出雲市 （伊波野地区青少年育成協議会 / 出雲市青少年育成市民会議）	・平成26年から地区青少年育成協議会の理事や役員として、積極的に青少年の健全育成活動を実施している。 ・この間小学校のPTA会長も務め、地区住民と保護者両視点から活動の企画と運営に携わり、地区の子どもたちのふるまい向上や居場所づくりを目的とした様々な事業を実施した（一泊お泊り、夏祭り等）。 ・令和4年4月からは当会会長として特にこどもたちの育成事業に力を入れている。 ・小中学校で実施しているあいさつ運動の回数を増やしたり、Eスポーツ体験などの要素を取り入れたこどもが楽しみながら地域交流を経験できるよう内容を工夫している。（あいさつ運動、いわのわくわくパーク）。 ・また、平成9年から出雲市交通安全協会伊波野支部の事務局、令和2年からは会長として、青少年育成協議会と協働し、こどもたちの交通安全啓発にも力を注いでいる。（いわのわくわくパーク）。
3	さとう いちろう 佐藤 一郎	33年	民生児童委員県知事感謝状 （R6. 9. 28） 瑞宝単光章 (H20. 11. 3)	出雲市 （塩冶地区少年ネットワーク / 出雲市青少年育成連絡会議）	・日本空手松涛連盟に所属し、鍛錬された精神や技術を以って、長年に亘り地元小学生に指導を行っている。 ・月6回の空手指導をとoshi、努力する力や礼儀を重んじ他を尊重する心、ルールを守る規範意識などを育むことで、こどもたちの心身の健全育成に尽力している。 ・青少年指導委員、青色防犯パトロール隊員などの活動も長年継続しており、通学路のパトロールや見守り活動による安全安心な環境づくりにも熱心に取り組んでいる ・さらには民生児童委員として、小中学校の通学路でのあいさつ運動やこども食堂のスタッフなどこどもたちと顔の見える関係の中で、地域の身近な信頼できる大人としてこどものより良い成長を見守り育んできている。
4	のむら かんじ 野村 完治	23年	益田市青少年育成市民会議表彰 (R5. 7. 13)	益田市 （益田市青少年育成市民会議）	・本人は漁業に従事しており、約20年前から小学校での総合的な学習の一環であるわかめの種付けから刈取までを体験する学習の支援を行ってきた。 ・本学習によりこどもが自然に親しみ、地域産業である漁業や環境保全に対する理解が深まるよう尽力している。 ・また、地域全体では、海を育む山との自然環境の関係性にも理解を深め、山林への植樹活動などの取り組みを他地域（北仙道地区）の子どもたちと共に実施するなど地域を超えた交流も行われ、本人も本活動に参加し、こどもたちの自然を大切にすることと行いを育むため尽力している。 ・また、平成15年から地区青少年健全育成協議会会長として青少年の健全育成事業に携わってきており、あいさつ運動や地域イベントの実施など様々な活動に取り組んでいる。
5	たかぎ としはる 高木 敏治	17年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (R2. 4. 1)	大田市 （大田市少年補導委員連絡会 / 大田市青少年育成市民会議）	・少年補導委員として真摯に地区の青少年健全育成に取り組んでいるほか、連絡会の役員として会の運営や広報啓発、各種研修活動等を推進し、地域の子を地域で見守る気運の醸成に大いに貢献している。 ・「少年の非行防止・健全育成活動」として、大型ショッピングセンターなどでのパトロールや挨拶運動等の街頭活動、学校等での各種教室、啓発チラシや動画の作成などの広報啓発活動を行っている。 ・「連絡会の発展と委員の資質向上に向けた取り組み」として、平成30年に地区の連絡班会長に就任して以降、明るく親しみやすい人柄で班をまとめ、責任感を持って連絡会の運営、発展に尽力するとともに、熱意を持ち積極的に各種研修会の企画や参画を行い、他連絡員の手本となっている。
6	いわた きょうこ 岩田 京子	24年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (H29. 3. 31)	安来市 （安来市少年補導委員連絡会 / 安来市青少年育成連絡会議）	・平成12年に少年補導委員に委嘱される。積極的に子ども達の非行防止及び健全育成、安全確保のための諸活動に取り組むほか複数の地域ボランティアを兼務するなど、子ども達の非行、犯罪被害及び事故防止に努めている。 ・毎月5日「少年の日」の街頭での声掛け活動や、毎月13日「やすぎ13（あいさつ）DAY」に地元中学校生徒会が行うあいさつ運動に協働し、立哨活動を行うなどの街頭啓発活動を継続している。 ・また、小学校における警察主催の防犯教室への参加協力、非行を犯した少年に対する継続的な関わりを継続する更生保護活動、各種研修への積極的な参加や委員同士の交流活動などで、広く青少年の健全育成に尽力している。
7	ぬのもと あきこ 布元 明子	13年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (H30. 4. 2)	美郷町 （邑智郡少年補導委員連絡会 / 青少年育成美郷町民会議）	・少年補導委員のほか島根県薬物乱用防止指導員（H24. 12）にも任ぜられる等、地域における青少年健全育成ボランティアの担い手であるとともに、公私にわたり地域の子も達と交流を育む実践者である。 ・地元交流センター長でもあり、保育園や小中学校との密な関係性の中で、地域における顔の見える信頼できる大人としてこどもたちにも慕われている。 ・「少年の非行防止・健全育成活動」として、小・中学校でのあいさつ運動や見守り活動、中学校でのネット安全教室や薬物乱用防止教室の講師を務め、こどもに気付きを与える参加型の講義を実施している。 ・「連絡会の発展と委員の資質向上に向けた取り組み」として、平成29年に支部長に就任して以降、会員を卓越した統率力と実行力でまとめ全員参加での各種取り組みを目指して尽力している。各種研修も企画運営から携わり、積極的に参加し他地区の連絡員との交流にも努めている。

【その他の部】

No	氏名・団体名	活動年数	過去の表彰歴	市町村名(推薦団体)	活動概要
1	たちく えおんどぼんかい 立久恵音頭保存会	21年		出雲市 （乙立地区青少年育成協議会 / 出雲市青少年育成市民会議）	・立久恵音頭は昭和10年に詩人野口雨情が出雲を訪れた際に創った詩に節と踊りの振り付けがなされたもので、以来地域で踊られていた。 ・戦争勃発により中断し戦後を過ぎても踊られることはなかったが、昭和60年に踊り復活の声があり昭和61年に本格的に復活に向けた体制を整え保存会を発足。市のまちづくり補助事業にも認定された。 ・立久恵音頭誕生70周年に当たる平成17年から、当音頭を活かした地域おこしのため新保存会の体制がスタート。 ・新保存会の活動方針の一つとしてこどもと協働で立久恵音頭の継承活動を進めることを挙げ、平成15年から地元の小学校へ出向き踊りの指導を始め、現在まで継続している。 ・当音頭はこどもも大人も一緒になって踊る特色があるが、こどもだけでも踊れるバージョン等も創り平成25年CD、DVDを作成し配布した。 ・毎年、乙立地区民体育祭、乙立夏祭り、敬老会、いずもおろちまつり等で踊り、こどもたちは楽しく練習に参加し、新しいお揃いの法被を身に着けて踊りを披露している。 ・保存会による活動は、地域の伝統文化を皆で守り伝えていくことの大切さや郷土愛を醸成するものであり、こどもたちの心身の健全育成に多大な貢献をしている。